

令和3年度決算に基づく南三陸町健全化判断比率・資金不足比率

「地方公共団体の財政の健全化に関する法律」に規定する南三陸町における健全化判断比率および資金不足比率について、令和3年度決算に基づく算定結果は次のとおりです。

▶健全化判断比率

区分	令和3年度 南三陸町比率	県内平均 (仙台市を除く)	早期健全化基準 (黄信号)	財政再生基準 (赤信号)
実質赤字比率	- % (▲24.17)		14.62%	20.00%
連結実質赤字比率	- % (▲32.50)		19.62%	30.00%
実質公債費比率	9.6%	6.2%	25.0%	35.0%
将来負担比率	- %	- %	350.0%	

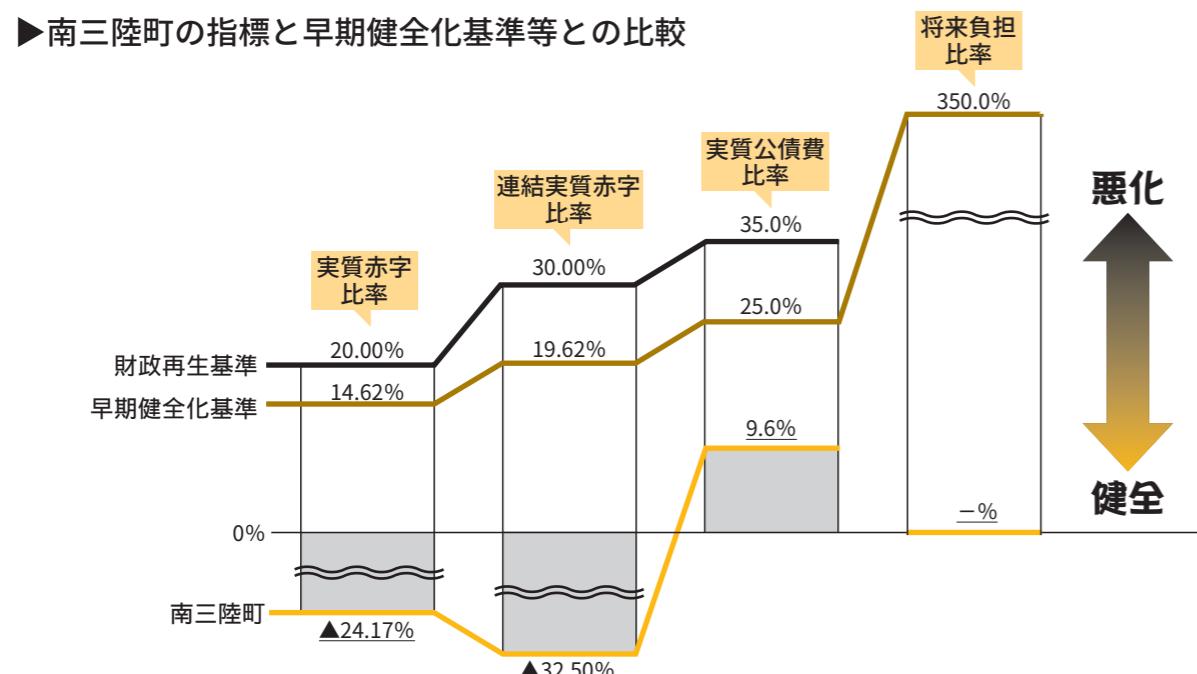
※赤字額がないため、実質赤字比率と連結実質赤字比率は「- (なし)」で表示し、黒字の数値を参考値として▲で表示しています。

▶資金不足比率

区分	市場事業	漁業集落排水事業	公共下水道事業	水道事業	病院事業	訪問看護ステーション事業
資金不足比率	- %	- %	- %	- %	- %	- %
経営健全化基準					20.0%	

※資金不足額がないため、資金不足比率は「- (なし)」と表示しています。

▶南三陸町の指標と早期健全化基準等との比較



■ 実質赤字比率 福祉、教育、まちづくりなどを行う町の一般会計の赤字額を、標準的な収入と比較して指標化したものです。令和3年度も黒字決算となつたことから、算定されていません。

■ 連結実質赤字比率 すべての会計の赤字や黒字を合算して、町全体の資金不足の程度を把握するため、標準的な収入との比較により指標化される比率です。連結実質赤字額が生じていないことから、算定されていません。

■ 実質公債費比率 標準的な収入に対する一般会計の実質的な借入金返済額割合を指標化したものです。令和3年度は、早期健全化基準未満となつていますが、前年度と比較して1.5%増加しました。災害公営住宅建設のために借入した地方債の償還開始に伴い、借入金償還額が増加したことが主な要因です。

■ 将来負担比率 借入金や将来支払っていく可能性のある負担などの残高を指標化し、将来財政を圧迫する可能性が高いかどうかを示します。令和3年度は、一般会計の財政調整基金や寄附金による震災復興基金の積立金があることなどから、算定されていません。

※標準的な収入（標準財政規模）→56億4,185万3千円（令和3年度）

借入金（町債・企業債）の状況

町では、公共施設を整備するために借入金などで資金を調達しています。

一般会計では、道路新設改良事業や道の駅建設事業などに、過疎対策事業債（3億1,820万円）の借り入れを行いました。また、台風19号により被害を受けた公共土木施設及び農林施設の災害復旧工事のために、災害復旧事業債（1億5,990万円）を借り入れ、令和3年度の借入総額は8億7,727万4千円となりました。借入総額のうち、地方交付税の不足分を補うための臨時財政対策債の借入額は1億5,820万円で、約18.0%を占めています。

他会計においては、公共下水道事業特別会計で1,970万円、水道事業会計で6,320万円、病院事業会計で4,340万円の借り入れを行いました。

町としての令和3年度末現在高の合計額は152億9,379万6千円となり、前年度末から4億9,041万1千円減少しています。

区分	令和2年度末現在高	令和3年度借入額	令和3年度償還額	令和3年度末現在高
一般会計	137億1,124万7千円	8億7,727万4千円	12億5,956万7千円	133億2,895万4千円
市場事業特別会計	円	0円	0円	0円
漁業集落排水事業特別会計	6,552万3千円	0円	852万6千円	5,699万7千円
公共下水道事業特別会計	4億2,518万9千円	1,970万0円	3,826万8千円	4億662万1千円
水道事業会計	13億6,776万7千円	6,320万0円	1億5,595万3千円	12億7,501万4千円
病院事業会計	2億1,448万1千円	4,340万0円	3,167万1千円	2億2,621万円
合計	157億8,420万7千円	10億357万4千円	14億9,398万5千円	152億9,379万6千円

令和3年度 特別会計・企業会計決算

特別会計区分	歳入総額	歳出総額	歳入歳出差引残額
国民健康保険特別会計	20億2,792万6千円	18億7,375万7千円	1億5,416万9千円
後期高齢者医療特別会計	1億4,997万1千円	1億4,667万4千円	329万7千円
介護保険特別会計	15億9,390万2千円	15億4,216万1千円	5,174万1千円
市場事業特別会計	3,512万3千円	3,177万8千円	334万5千円
漁業集落排水事業特別会計	2,190万2千円	1,444万2千円	746万円
公共下水道事業特別会計	1億6,433万1千円	1億5,468万5千円	964万6千円

企業会計区分	予算額	決算額
水道事業会計	収入	6億3,796万6千円
	支出	6億7,191万8千円
	収入	12億8,430万4千円
	支出	14億1,087万1千円
病院事業会計	収入	20億2,800万円
	支出	20億2,800万円
	収入	8,206万5千円
	支出	8,206万5千円
訪問看護ステーション事業会計	収入	5,200万円
	支出	4,233万円